

首都高速道路株式会社第 9 期（平成 26 年 3 月期）中間決算のポイント

（会計期間：平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

1. 平成 26 年 3 月期中間期の連結業績

（単位：億円）

	H26/3 期 中間期 (A)	H25/3 期 中間期 (B)	対前年増減額・率	
			(A) - (B)	%
営業収益	1,398	1,448	△50	△3.5%
高速道路事業	1,344	1,411	△67	△4.8%
料金収入	1,286	1,293	△7	△0.6%
道路資産完成高	57	117	△59	△50.8%
その他	0	0	△0	△26.8%
関連事業	55	38	17	44.4%
駐車場事業	13	13	0	4.1%
受託事業	32	17	15	89.3%
その他の事業	9	8	1	17.6%
セグメント間取引消去	△1	△1	△0	-
営業費用	1,345	1,376	△31	△2.3%
高速道路事業	1,296	1,343	△46	△3.5%
(うち道路資産賃借料)	(968)	(959)	(8)	(0.9%)
関連事業	50	35	15	44.9%
駐車場事業	10	10	△0	△2.3%
受託事業	32	17	15	88.2%
その他の事業	8	7	0	13.2%
セグメント間取引消去	△1	△1	△0	-
営業利益	52	71	△19	△26.8%
高速道路事業	47	68	△20	△30.2%
関連事業	4	3	1	40.2%
経常利益	54	72	△18	△25.2%
中間純利益	29	42	△12	△30.6%

※端数処理の関係で、計が合わないことがあります。

- 営業収益については、高速道路事業において、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下「機構」といいます。）への道路資産の引渡しが前年同期より減少したことや大口・多頻度割引の適用増の影響などにより、1,398億円（前年同期比50億円減）となりました。
- 営業費用については、高速道路事業において、機構への道路資産の引渡しが減少したことによる道路資産完成原価の減少などにより、1,345億円（前年同期比31億円減）となりました。
- 以上の結果から、営業利益52億円（前年同期比19億円減）となりました。
- また、経常利益54億円（前年同期比18億円減）、中間純利益29億円（前年同期比12億円減）となっております。

2. 平成 26 年 3 月期の連結業績予想

(単位：億円)

	H26/3 期 見通し (A)	H25/3 期 実績 (B)	対前年増減額・率	
			(A) - (B)	%
営業収益	3,775	4,336	△560	△12.9%
高速道路事業	3,371	4,026	△655	△16.3%
料金収入	2,550	2,557	△7	△0.3%
道路資産完成高	820	1,467	△647	△44.1%
その他	0	1	△0	△40.4%
関連事業	408	314	94	30.0%
駐車場事業	27	27	0	3.4%
受託事業	360	268	91	34.2%
その他の事業	20	18	1	7.3%
セグメント間取引消去	△3	△3	0	-
営業費用	3,761	4,271	△509	△11.9%
高速道路事業	3,370	3,968	△598	△15.1%
(うち道路資産賃借料)	(1,937)	(1,919)	(17)	(0.9%)
関連事業	395	307	88	28.9%
駐車場事業	21	21	△0	△3.1%
受託事業	356	268	88	33.0%
その他の事業	18	17	1	6.1%
セグメント間取引消去	△3	△3	0	-
営業利益	13	64	△50	△78.6%
高速道路事業	1	57	△56	△98.0%
関連事業	12	7	5	76.6%
経常利益	15	65	△49	△75.8%
当期純利益	5	34	△28	△83.3%

※端数処理の関係で、計が合わないことがあります。

- 営業収益は 3,775 億円、営業利益は 13 億円、経常利益は 15 億円、当期純利益は 5 億円となる見込みです。
- 料金収入については、2,550 億円と前年同期に比して、7 億円の減収となる見込みです。これは、大口・多頻度割引の適用増の影響などによるものです。
- 道路資産完成高については、営業中路線の修繕事業等に伴う機構への引渡しを計上しています。
- 関連事業については、国、地方公共団体等の委託に基づく受託事業及び駐車場事業等の売上を計上しています。
- 上記に記載した数値は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性及び今後の事業運営等による変動可能性に照らし、将来における当社の業績と異なる可能性があります。

(参考) 個別業績の概要

(単位：億円)

	H26/3 期 中間期 (A)	H25/3 期 中間期 (B)	対前年増減額・率		H26/3 期 見通し (C)
			(A) - (B)	%	
営業収益	1,386	1,438	△52	△3.6%	3,748
高速道路事業	1,344	1,411	△67	△4.8%	3,370
料金収入	1,286	1,293	△7	△0.6%	2,550
道路資産完成高	57	117	△59	△50.8%	820
その他の売上高	0	0	△0	△30.1%	0
関連事業	41	27	14	54.7%	378
駐車場事業	7	8	△1	△18.5%	12
受託事業	32	16	15	89.8%	360
その他の事業	2	1	1	90.9%	5
営業費用	1,340	1,374	△34	△2.5%	3,744
高速道路事業	1,299	1,348	△48	△3.6%	3,372
道路資産賃借料	968	959	8	0.9%	1,937
道路資産完成原価	57	117	△59	△50.8%	820
管理費用	273	270	2	0.8%	615
関連事業	40	26	14	56.1%	371
駐車場事業	6	7	△1	△18.4%	10
受託事業	32	17	15	89.1%	356
その他の事業	1	1	0	76.2%	4
営業利益	46	64	△18	△28.2%	4
高速道路事業	44	63	△18	△28.9%	△2
関連事業	1	1	0	19.3%	6
経常利益	50	66	△15	△24.1%	8
中間純利益	29	39	△10	△26.0%	1

※端数処理の関係で、計が合わないことがあります。

□上記に記載した数値は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性及び今後の事業運営等による変動可能性に照らし、将来における当社の業績と異なる可能性があります。